

平成20年中のサイバー犯罪の検挙状況等について

1 サイバー犯罪の検挙状況

平成20年中のサイバー犯罪（情報技術を利用する犯罪）の検挙件数は6,321件で前年(5,473件)より15.5%増加。平成16年から過去5年間で約3倍に。[1 頁]

(1) 不正アクセス禁止法違反
不正アクセス禁止法違反は1,740件で前年(1,442件)より20.7%増加。

(2) コンピュータ・電磁的記録対象犯罪
コンピュータ又は電磁的記録を対象とした犯罪は247件で前年(113件)より118.6%増加。

(3) ネットワーク利用犯罪
ネットワーク利用犯罪は4,334件で前年(3,918件)より10.6%増加。

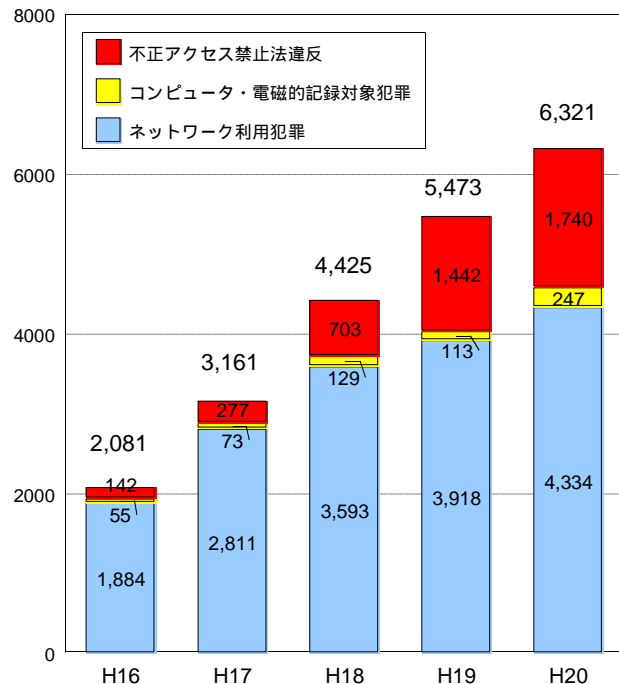
ネットワーク利用詐欺は前年とほぼ同数（1,508件、前年比-4件、-0.3%）。インターネット・オークション利用詐欺は減少（1,140件、前年比-89件、-7.2%）。

児童買春は減少（507件、前年比-44件、-8.0%）。青少年保護育成条例違反は増加（437件、前年比+207件、+90.0%）。

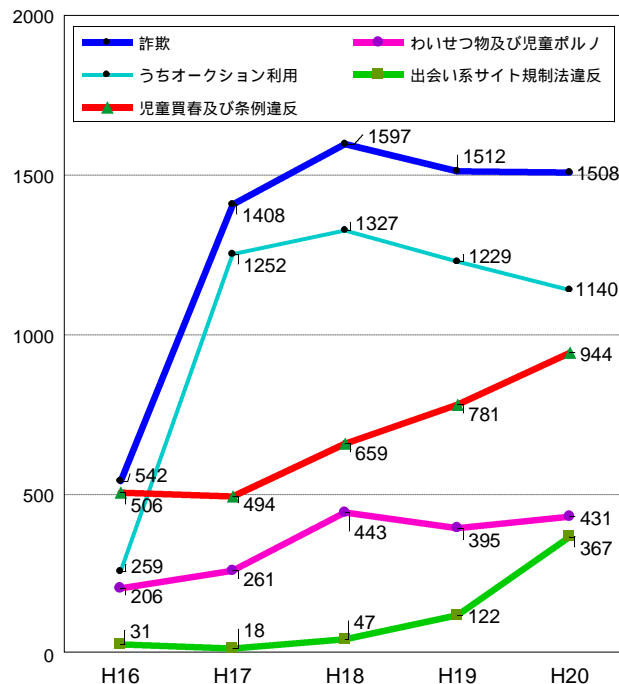
わいせつ物頒布等は減少（177件、前年比-26件、-12.8%）。児童ポルノ事犯は増加（254件、前年比+62件、+32.3%）。

出会い系サイト規制法違反は大幅に増加（367件、前年比+245件、+200.8%）。

検挙件数の推移



ネットワーク利用犯罪の内訳

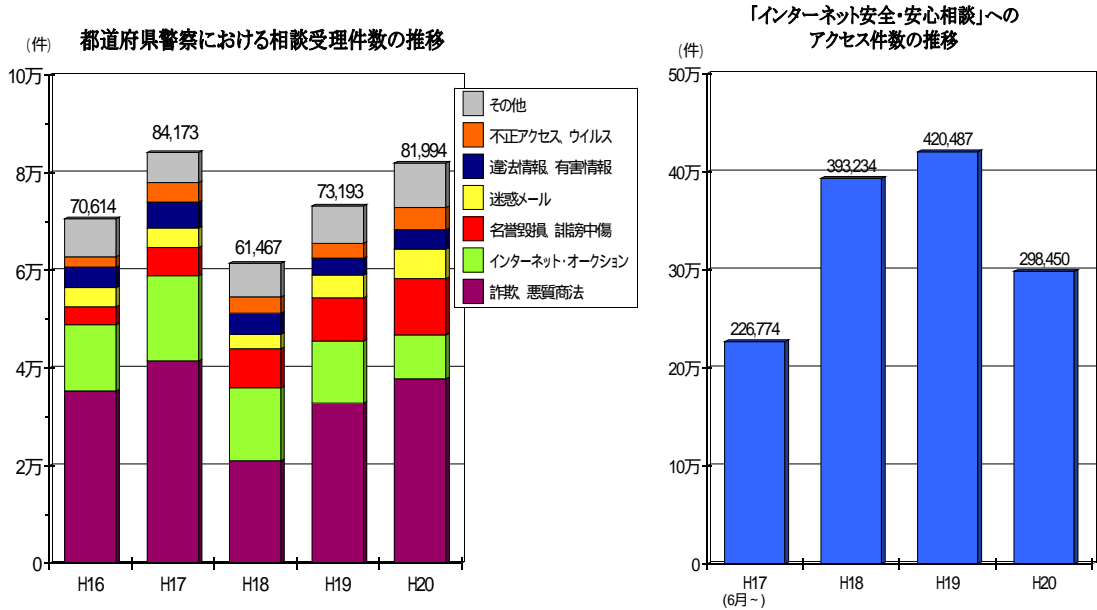


2 サイバー犯罪等に関する相談状況

平成20年中に都道府県警察の相談窓口で受理したサイバー犯罪等に関する相談件数は81,994件で、前年(73,193件)より12.0%増加。[4 頁]

「インターネット・オークション」に関する相談以外は、いずれも増加。

なお、平成20年中におけるウェブサイト「インターネット安全・安心相談」へのアクセス数は298,450件(1日平均815件)で、前年(420,287件)より29.0%減少。[6 頁]



3 対策

(1) 増加するサイバー犯罪に対する的確な対応

各種教養を通じて、警察署等におけるサイバー犯罪対応能力の向上を図り、サイバー犯罪に対する取締りを強化する。

広域事件における合同・共同捜査、組織的事犯への組織的犯罪処罰法の適用等、事案の内容に応じた的確なサイバー犯罪捜査を推進する。

(2) インターネット上の違法情報に対する取締りの推進

サイバーパトロール、インターネット・ホットラインセンター等を通じて違法情報を把握し、悪質事犯に重点を指向した取締りを進める。

違法情報の投稿・書き込みをした者だけでなく、違法情報を蔵置しているサイト等の管理者の刑事責任の追及も視野に入れた捜査を行う。

(3) 広報啓発活動等を通じたサイバー犯罪被害の未然防止

サイバー犯罪等に関する相談内容を踏まえ、同種被害防止の観点から広報啓発活動を推進し、国民に注意喚起を図る。

「インターネット安全・安心相談」についても、内容の充実を図る。

平成20年中のサイバー犯罪の検挙及び相談状況について

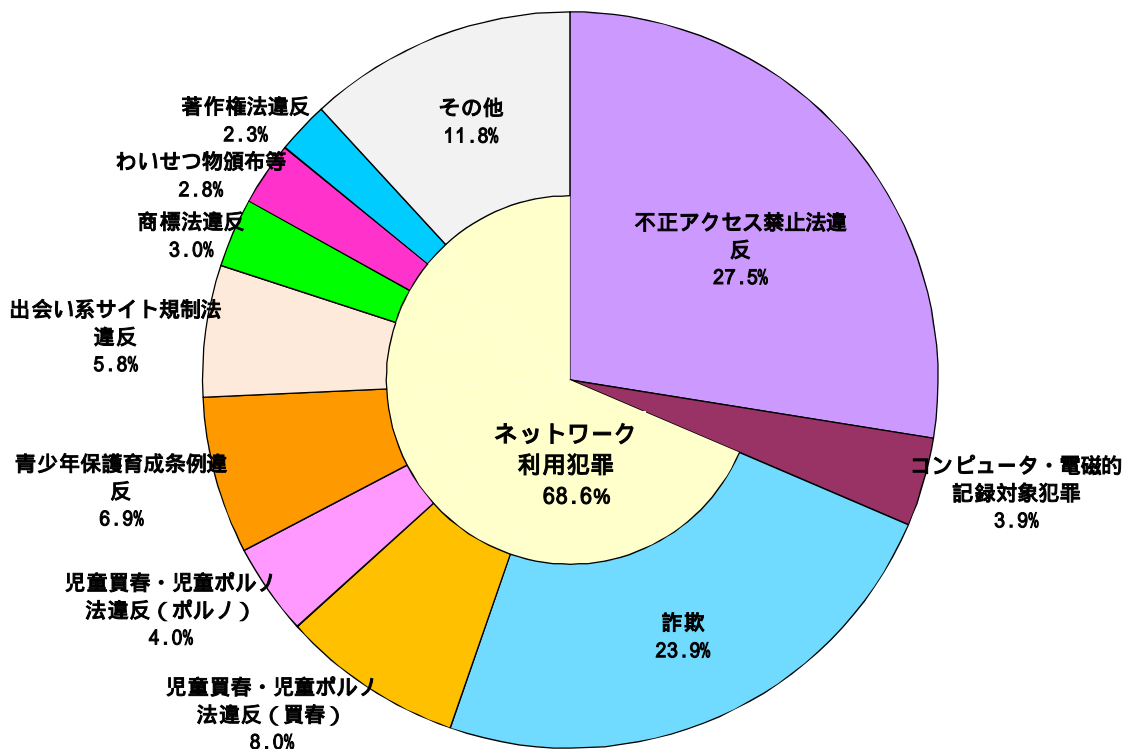
第1 サイバー犯罪の検挙状況

1 検挙件数

罪名	年					前年比増減	
	H16	H17	H18	H19	H20		
不正アクセス禁止法違反	142	277	703	1,442	1,740	+ 298	(+ 20.7%)
コンピュータ・電磁的記録対象犯罪	55	73	129	113	247	+ 134	(+ 118.6%)
電子計算機使用詐欺	42	49	63	74	220	+ 146	(+ 197.3%)
電磁的記録不正作出・毀棄等	8	17	56	34	20	- 14	(- 41.2%)
電子計算機損壊等業務妨害	5	7	10	5	7	+ 2	(+ 40.0%)
ネットワーク利用犯罪	1,884	2,811	3,593	3,918	4,334	+ 416	(+ 10.6%)
詐欺	542	1,408	1,597	1,512	1,508	- 4	(- 0.3%)
児童買春・児童ポルノ法違反(児童買春)	370	320	463	551	507	- 44	(- 8.0%)
児童買春・児童ポルノ法違反(児童ポルノ)	85	136	251	192	254	+ 62	(+ 32.3%)
青少年保護育成条例違反	136	174	196	230	437	+ 207	(+ 90.0%)
出会い系サイト規制法違反	31	18	47	122	367	+ 245	(+ 200.8%)
商標法違反	82	109	218	191	192	+ 1	(+ 0.5%)
わいせつ物頒布等	121	125	192	203	177	- 26	(- 12.8%)
著作権法違反	174	128	138	165	144	- 21	(- 12.7%)
その他	343	393	491	752	748	- 4	(- 0.5%)
合計	2,081	3,161	4,425	5,473	6,321	+ 848	(+ 15.5%)

その他には、名誉毀損、脅迫、覚せい剤取締法違反等の薬物事犯、銃砲刀剣類所持等取締法、売春防止法等の違反がある。
 ネットワーク利用犯罪の定義
 犯罪の構成要件に該当する行為についてインターネット等を利用した犯罪又は構成要件該当行為でないものの、犯罪の実行に必要不可欠な手段としてインターネット等を利用した犯罪をいう。

2 サイバー犯罪の罪名別割合



(注) 比率は四捨五入しているため合計が100にならない。

3 平成20年中の主なサイバー犯罪検挙事例

不正アクセス禁止法違反

被疑者（会社員・男・27歳）らは、セキュリティ上の脆弱性を有するプログラムを使用していたホームページに対し、セキュリティホール攻撃による不正アクセス行為を行い、出会い系サイトを宣伝する卑わいな文言等を同ホームページに書き込み、正規のホームページを閲覧不能にした。

電子計算機損壊等業務妨害でも検挙。

（2月・滋賀県）

被疑者（高校生・男・18歳）は、自ら作成した不正プログラムをファイル共有ソフトを利用して頒布し、不正プログラムに感染したコンピュータから他人のID・パスワードを不正に取得し、自ら不正アクセス行為を行うとともに、インターネット・オークションを利用して偽ブランド品を出品販売していた男らに、不正に取得したID・パスワードを販売し、その不正アクセス行為を幫助した。

（9月・群馬県）

コンピュータ・電磁的記録対象犯罪

【電子計算機使用詐欺】

被疑者（無職・男・23歳）は、他人のID・パスワードを不正に取得し、そのID・パスワードを使用して、他人の口座から自らが管理する口座に不正に送金した。

不正アクセス禁止法違反でも検挙。

（5月・警視庁）

ネットワーク利用犯罪

【詐欺】

被疑者（無職・男・33歳）らは、他人のID・パスワードを不正に取得し、そのID・パスワードを使用して、インターネット・オークションサイトに対する不正アクセス行為を行い、商品を買ると偽り落札者から代金をだまし取った。

不正アクセス禁止法違反でも検挙。

（2月・大分県、宮崎県、佐賀県、鹿児島県、広島県、福岡県、岐阜県）

【児童買春・児童ポルノ法違反、わいせつ図画公然陳列】

被疑者（無職・男・43歳）は、インターネット上に画像投稿サイトを開設し、共犯被疑者らが投稿した児童ポルノ等の画像を閲覧可能な状態とし、児童ポルノ等を公然陳列した。

（10月・神奈川県）

【出会い系サイト規制法違反】

被疑者（会社員・男・27歳）らは、出会い系サイトに書き込みを行い、児童を性交等や対償を伴う異性交際の相手方となるように誘引した。

また、この出会い系サイトを開設していた被疑者（自営業・男・40歳）は、不特定多数の利用者がこれら禁止誘引行為に当たる書き込みを行っていることを認識していながらこれを容認し、閲覧可能な状態にして禁止誘引行為を幫助した。

（4、7月・神奈川県）

【著作権法違反、名誉毀損】

被疑者（大学院生・男・24歳）は、パソコン内のデータを破壊・転送する自作のコンピュータウイルスに、感染したパソコンの画面に自動的に表示されるアニメの登場人物あるいは知人の顔写真等に係る画像データを添付し、ファイル共有ソフト「Winny」を利用して、不特定多数の者に送信した。

（1月・京都府）

【著作権法違反】

被疑者（無職・男・28歳）らは、携帯電話向けの無料音楽配信サイトを開設し、著作権者の承諾を得ないで、同サイトにアクセスした不特定多数の者に楽曲を配信した。

また、レンタルホームページ事業者である被疑者（会社役員・男・30歳）は、違法な音楽配信であることを知りながら、不特定多数の者が楽曲にアクセス可能な状態を継続させることにより、著作権法違反行為を幫助した。

（10、11月・京都府）

【組織的犯罪処罰法違反（組織的な詐欺）】

被疑者（無職・男・34歳）らは、詐欺グループとして組織的に、インターネット・オークションサイト上に表示されている他人のIDからそのパスワードを類推して、同サイトに対する不正アクセス行為を行い、商品を売ると偽り落札者から代金をだまし取った。

不正アクセス禁止法違反等でも検挙。

（3月・大阪府、山形県、栃木県、静岡県、和歌山県、広島県）

【犯罪収益移転防止法違反】

被疑者（無職・男・27歳）は、インターネット上の掲示板に「各種口座高価買取」などと書き込みを行い、預貯金通帳を譲り渡すよう誘引した。

（7月・神奈川県）

第2 サイバー犯罪等に関する相談状況

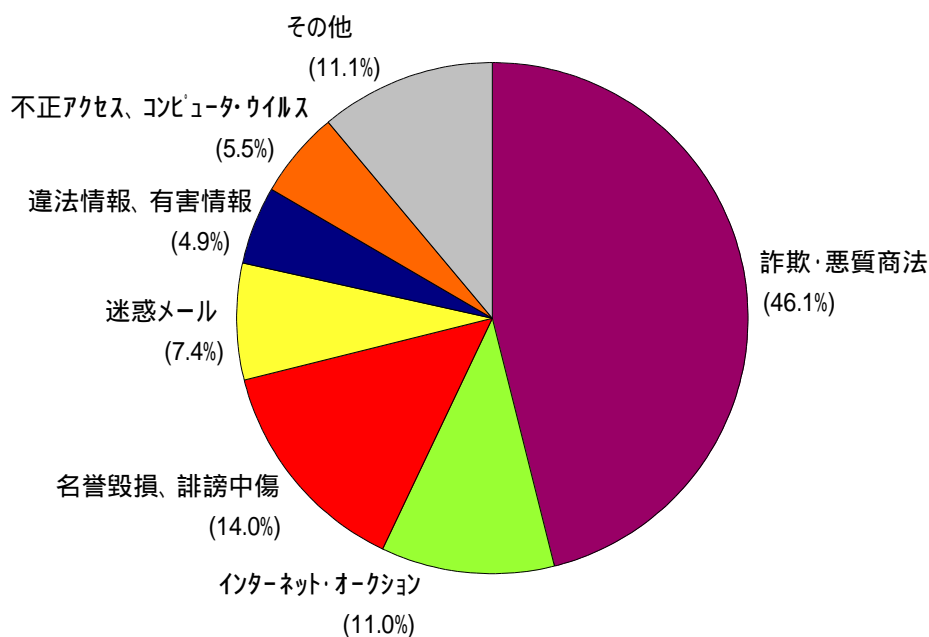
都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口等に寄せられたサイバー犯罪等に関する相談の受理件数は次のとおり。

1 相談受理件数の推移

(単位：件)

区分	年	H16	H17	H18	H19	H20	増減
詐欺・悪質商法に関する相談 (インターネット・オークション関係を除く)		35,329	41,480	21,020	32,824	37,794	+4,970 (+15.1%)
インターネット・オークションに関する 相談		13,535	17,451	14,905	12,707	8,990	-3,717 (-29.3%)
名誉毀損、誹謗中傷等に関する相談		3,685	5,782	8,037	8,871	11,516	+2,645 (+29.8%)
迷惑メールに関する相談		3,946	3,975	2,930	4,645	6,038	+1,393 (+30.0%)
違法情報、有害情報に関する相談		4,157	5,317	4,335	3,497	4,039	+542 (+15.5%)
不正アクセス、コンピュータウイルスに関する 相談		2,160	3,965	3,323	3,005	4,522	+1,517 (+50.5%)
その他		7,802	6,203	6,917	7,644	9,095	+1,451 (+19.0%)
合 計		70,614	84,173	61,467	73,193	81,994	+8,801 (+12.0%)

2 相談区分別の割合 (平成20年中)



3 主な相談事例

(1) 詐欺・悪質商法に関する相談

【架空請求・不当請求】

サイト上でリンク先をクリックしたところ、有料会員として登録された旨の画面が表示され、料金を請求された。

無料の表示があったので、出会い系サイトに登録して利用したところ、料金を請求された。

懸賞応募サイトや占いサイトを利用したところ、有料サイトの会員として勝手に登録され、料金を請求された。

(2) インターネット・オークションに関する相談

【詐欺被害】

オークションで落札し、代金を振り込んだが商品が送られてこない。

【違法品】

オークションで商品を買ったが、偽ブランド品、海賊版であった。

(3) 名誉毀損、誹謗中傷等に関する相談

掲示板に自分を誹謗中傷するような内容が書き込まれている。

掲示板に自分の写真や氏名、住所等が無断で掲載された。

掲示板の書き込みを削除させたいが、どうすればよいか。

(4) 迷惑メールに関する相談

勧誘のメールが一日に何通も届いて迷惑である。

わいせつな文章や画像が添付されたメールが送りつけられてくる。

(5) 違法情報、有害情報に関する相談

児童ポルノ画像を掲載しているホームページがある。

自殺の方法を掲載しているホームページがある。

(6) 不正アクセス、コンピュータ・ウイルスに関する相談

【不正アクセス】

ID・パスワードが勝手に使用され、誰かがインターネット・オークションに商品を出品した。

ID・パスワードが勝手に使用され、誰かがオンラインゲーム用の仮想通貨とアイテムを盗んだ。

【コンピュータ・ウイルス】

ファイル共有ソフトを使用していたら、コンピュータ・ウイルスに感染してしまい、パソコンに保存していたデータがインターネット上に流出した。

第3 「インターネット安全・安心相談」へのアクセス状況

1 「インターネット安全・安心相談」について

警察庁では、平成17年6月16日からインターネット上での困りごと相談を受け付け、その対応策等を回答するウェブサイト「インターネット安全・安心相談」(<http://www.cybersafety.go.jp/>)を開設している。



2 アクセス数

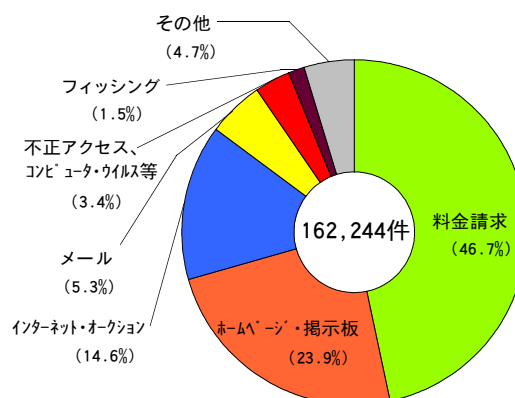
(1) アクセス数の推移

	H17	H18	H19	H20
件数	226,774件	393,234件	420,287件	298,450件
1日平均	1,140件	1,077件	1,152件	815件

平成17年は、6月16日からの件数。

(2) 質問項目別割合

項目	H19	H20
料金請求	143,855	75,729
ホームページ・掲示板	39,210	38,765
インターネット・オークション	29,670	23,692
メール	8,159	8,553
不正アクセス、コンピュータウイルス等	7,420	5,450
フィッシング	3,585	2,443
その他	7,256	7,612
計	239,155	162,244



(注) 各項目の数値をそれぞれ四捨五入しているため、合計が100%にならない。